

Mpeg HDGate

エムペグハーディゲート

取り扱い説明書

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

・「安全にお使いいただくために」
　本製品を安全に使っていただくための取り決めを記載しています。必ずお読みいただき、守っていただけますようお願いします。
・第 1 章「始めにお読みください」
　本製品のサポート方法、また、本マニュアルをお読みになるために、必要な事項が記載されています。ここも必ずお読みくださるようお願いします。
・第 2 章「お使いになる前に」
　本製品の電源を入れる前にやることを記載しています。
・第 3 章「実際の使用方法」
　ハードディスクや DVD プレーヤーから再生する方法について記載しています。
・第 4 章「詳細設定」
　本製品をより深く使っていただくための、細かい設定方法について記載してあります。
・第 5 章「付録」
　このマニュアルに記載している専門の用語についての解説や、本製品が動作しないときの対処方法について記載してあります。

商標・著作権について

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読み下さい。下記注意事項を本書に従って、正しく安全に使用して下さい。



警告

異常に気がついたら

万が一、変なにおいがする、煙が出るなどの異常に気がついたら、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、本製品の使用を中止してください。

お客様自身により分解や修理は危険ですので、サポートセンターにご連絡ください。

本製品を落とさない。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。そのまま使用を続けると、内部の部品のショート、破壊などで火災になる恐れがあります。すぐにコンセントを抜いて、使用を中止してください。

付属品のACアダプタを使用する。

付属品以外のACアダプタを使用すると火災発生の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

濡れた手で、本製品を使用すると感電の原因になります。

本製品を分解しない。

たとえ修理の目的であっても本体やACアダプタを分解しないでください。火災や感電の原因となります。またメーカーで責任を負うことができず保証対象外となります。

電源コードを破損しない。

無理に曲げる、押さえつける、加工するなどで電源コードに傷をつけると感電や火災の原因になります。

モノや水をいれない。

本体内部やACアダプタ内部に燃えやすいものや金属類を差し込んだり入れたりしないでください。火災や感電の原因になります。

水のそばに置かない。

コップや花瓶など水が入った器の近くや風呂場や台所など水のかかる場所では使用しないでください。水が本体やACアダプタ内部に入ると火災や感電の原因になります。

自動車やボートなどの運転中は使用しない。

自動車やボートなどを運転中に本製品を使用しないでください。重大な事故の原因になります。

レーザー部を凝視しない。

本機はレーザーダイオードを使用しています。通常の利用以外でレーザー部を直接見るなどの行為はしないでください。



注意

機器の上に乗ったり落とさない。

機器の使用は丁寧に行い、落下などに十分に気をつけてください。製品の破損の原因になるだけでなく、怪我の原因になります。

また、本製品の上に他の物は載せないでください。傷がついたり故障の原因になります。

ケーブル類の取り扱いに注意。

乳幼児や愛玩動物などの首にケーブル類が巻きつくと死亡に至るなど重大事故の恐れがあります。

電源プラグはコードを持って抜かない。

必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、コードが破損して火災や感電の原因になります。

直射日光のあたる場所や強磁界、強電解の場所では使用しない。

本製品を下記の場所で使用すると重大な故障原因や火災の原因になります。

1) 直射日光のあたる場所
2) 強い磁界、静電気の発生する場所
3) ほこりの多いところ
4) 振動の発生するところ
5) 平らでないところ

長時間使用しないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長時間本機を試用しないときは、必ず電源プラグを抜いてください。

ヘッドホンの使用について。

ヘッドホンを使用する際は、音量を最低にしてから再生を始めてください。また、ヘッドホンを使用しながらプラグの抜き差しをしないでください。突然大きな音がして聴覚に異常をきたすことがあります。

電源プラグは確実に差し込む。

電源プラグが確実に根元まで差し込まれていないと火災や感電の原因になります。

乳幼児の飲み込みに注意。

本製品には乳幼児の口に入る部品があります。飲み込まないように十分に管理してください。

結露したまま使用しない。

温度と湿度の突然の変化で、暖かい空気と本製品部品が接した時に結露することがあります。（結露とはいわゆる「汗」をかいた状態で、冬の窓に水滴がついたような状態です）本製品が結露した状態では正常に操作できませんが、結露が解除した後、再び正常に操作できます。

本製品が凍結し正常に操作できない時は、本製品を操作できるまで室温で 1,2 時間程度放置してください。ただし、時間は環境により異なります。

使用するディスクについて

ディスクは高速で回転しますので、割れたり変形した（曲がった）ディスクを入れると本製品動作に異常をきたします。

割れたディスクをテープや接着剤で張らないで下さい。故障の原因になります。

再生開始後、ディスクがきちんと回転しないような、おかしな音や振動が発生した場合、すぐに本体背面の電源スイッチを OFF にしてディスクの回転を止めてください。

ディスクの取り出し方

ディスクトレイの蓋を開け、指をディスク中央の穴に軽く差し込み、その指でディスクを引っ掛けながら軽く持ち上げ、ディスクが少し持ち上がったら、他の指で固定して取り出してください。ディスク表面を汚さず取り出せます。ディスクを使用する時はラベル面を上にしてトレイの上に置いてください。

ディスクの保管

使用後は、本製品からディスクを取り出してケースに入れ、垂直に保管します。ディスクを斜めにしたり、重ねておくと変形、湾曲する恐れがあります。

ディスクを直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に放置しないでください。ディスクにシールなどを貼ったり、ディスク表面に傷をつけないでください。

ディスクの手入れ

ディスクの指のあとや汚れを取る時はきれいな布を使い、中心から外に向けて拭くようにしてください。(回すように拭くと、リング状の傷ができ、再生時に騒音がおきやすくなります)

メチルベンゼン、うすめ液、などを使用しないでください。

データのバックアップを行う

HD カセットに実装するハードディスクの中に必要なデータがある場合は、実装前に、データのバックアップを行ってください。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品を移動する場合

本製品を移動する場合は、DVD プレーヤーからディスクを取り出し、AC ケーブルを抜いてから行ってください。

ディスクが入ったまま移動すると、ディスクに傷が付く恐れがあります。

目次

1-1　本製品の仕様

本体基本仕様	大きさ	420 x 265 x 50 mm
	重量	2.5kg
	電源	AC 100V-240V 50/60Hz 32W
	動作温度	温度　5°C～35°C　湿度　8%～80%（結露なきこと）
	保存温度	温度　0°C～40°C　湿度　5%～95%（結露なきこと）
	OSD 言語	日本語/英語（選択可）
外部出力	映像出力フォーマット	NTSC/PAL
	コンポジットビデオ	RCA ピンジャック
	コンポーネントビデオ	RCA ピンジャック
	S ビデオ出力	ミニ DIN4 ピン
	アナログオーディオ	RCA ピンジャック（右、左）
	デジタルオーディオ	Coaxial、光出力
HDD カセット仕様(ハードディスクケース)	PC インタフェース	USB1.1/USB2.0　タイプ B コネクタ
	本体とのインタフェース	IDE（オリジナルコネクタ）
	対応 OS	Windows XP. Windows 2000 MacOS X 10.0.4 以上　（あらかじめ Windows 上での FAT32 でのフォーマットが必要です。）
	実装できるハードディスク	LBA 対応の 3.5” ハードディスク
	フォーマット	NTFS/FAT32
	再生可能フォーマット	MP3 ファイル、JPEG ファイル、MPEG1 ファイル、 MPEG2 ファイル（6Mbps 以下）、DivX/MPEG4（AVI）ファイル*1
	対応ファイルの拡張子	映像：dat, mpg, mpe, mpeg, vob, avi, divx, xvid, m2p 音声：mp3, mp2, wav, ac3 静止画：jpg, jpeg
	付属 AC アダプタ	入力 AC 100V～240V 出力 DC 12V
	大きさ	187 x 115 x 34 mm
	重量	330g　（ハードディスクは除く）
DVD プレーヤー仕様	対応メディア	DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-ROM、CD-R/RW、CD-ROM
	再生可能フォーマット	DVD-Video, SVCD, VCD 1.1/2.0, 音楽 CD, MP3 ファイル, JPEG ファイル, MPEG1/MPEG2 ファイル, DivX/MPEG4（AVI）ファイル*1
	対応ファイルの拡張子	映像：dat, mpg, mpe, mpeg, vob, avi, divx, xvid, m2p 音声：mp3, mp2, wav, ac3 静止画：jpg, jpeg
	対応メディアサイズ	12cm,8cm
	地域コード	地域コード「2」

*1：Q-PEL と Global Motion Compensation(GMC)には、対応していません。

1-2　製品の保証とサポートについて

■　製品保証

・この製品には保証書が添付されています。

所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。

・無償保証期間はお買い上げ日より１年間です。

・お客様が実装されたハードディスクに関しての保障はできません。

■　アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

調子が悪いときはまずこの説明書と下記ホームページをご覧になって調べてください。

http://www.novac.co.jp/support/index.html

付属ソフト（Ulead Video ToolBox2 for Mpeg HDGate）で不明な点がある場合は、下記のホームページを参照してください。

http://www.ulead.co.jp/

ユーリードシステムズ株式会社のホームページの「サポート」に FAQ、トラブルシューティング、アップデーターダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧いただくことで解決できることも多々ありますので、ご一読ください。

それでも具合の悪い場合は下記にお問い合わせ下さい

お問い合わせは、Mpeg HDGate(HD カセットを含む)と付属ソフトによって異なります。

・Mpeg HDGate(HD カッセトを含む)のお問い合わせ先

株式会社ノバック　サポートセンター　にご相談ください。

住所	：	〒113-0033　東京都文京区本郷３－３８－１ 本郷イシワタビル５Ｆ 株式会社ノバック　サポートセンター
サポート専用電話	：	（03）3817－0938
受付時間	：	月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く） AM10:00～PM12:00　PM1:00～PM5:00
e-mail	：	users@novac.co.jp

お問い合わせの際のお願い

＊　お問い合わせの際には、再生しようとしているファイルの種類（例えば、どこからダウンロードしたとか、どのソフトを使って作ったファイルなど）やパソコンの機種名など詳細をお教えください。

＊　電話がかかりにくい場合は、e-mail でお問い合わせ下さい。

＊　e-mail でのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせて頂きます。
e-mail や電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただけると助かります。

・付属ソフト（Ulead Video ToolBox2 for Mpeg HDGate）のお問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社にご相談ください。

電子メール

電子メールでのお問い合わせは、お使いのメールソフトなどからご送信いただく形式ではなく、ユーリードシステムズのホームページ上からアクセスできる「メール送信フォーム」からお送りいただくようになっております。トップページや FAQ ページなどからアクセスしていただくと、必要事項とお問い合わせ内容を記入していただく入力欄が表示されます。そちらにご記入いただき、送信してお問い合わせください。

※ 電子メールでのお問い合わせの場合、基本的に1両日中（土・日、祝、年末年始を除く）にご返答しておりますが、内容や難易度により2,3日お時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

サポート電話

03-5491-5662

受付時間: 月曜日から金曜日（土・日、祝、年末年始を除く）

10 時から 12 時、13 時から 17 時

※ 電話がかかりにくい場合は、インターネットでお問い合わせください。

<u>**修理をお申込の場合は**</u>

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

■ ユーザー登録

ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただかないとアフターサービスを受けられない場合がありますので

ご登録手続きを必ずお願いいたします。

便利なオンライン登録をお勧めいたします。

http://www.novac.co.jp/signup/index.html

1-3　パッケージの内容

本製品には、以下のものが含まれています。最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

１．本製品本体　　２．HD カセット　　３．リモコン（単 4 乾電池 X2）







４．AC アダプタ（HD カセット用）　　５．USB ケーブル（HD カセット用）

６．コンポジットビデオ・オーディオケーブル

７．ソフトウェア CD（Ulead Video ToolBox2 for Mpeg HDGate）

８．ユーザーズマニュアル（本書）

９．保証書

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

1-4　各部の名称

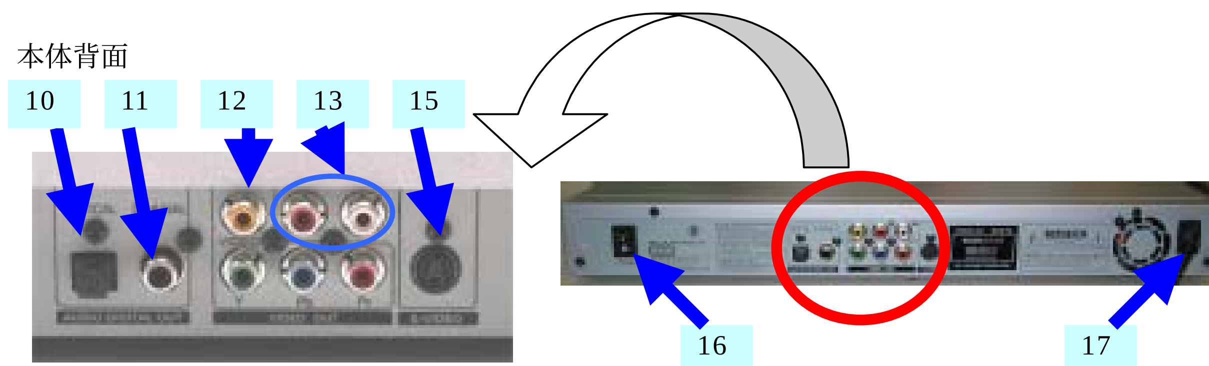
1）本体正面



1　HD ゲート(ハーディゲート) -- ハードディスクを実装した HD カセットをここにセットします。
2　DVD プレーヤー　-- DVD あるいは CD のメディアからのファイルをここで再生します。
3　Eject ボタン　-- このボタンを押すと、DVD プレーヤーのトレイが開いたり閉じたりします。
4　再生/一時停止ボタン -- このボタンを押すと、指定したファイルを再生したり、再生している映像を一時停止したりします。
5　停止ボタン -- このボタンを押すと、再生を停止します。
6　巻き戻しボタン -- このボタンを押すと、再生している映像が巻き戻ります。
7　早送りボタン　-- このボタンを押すと、再生している映像が早送りします。
8　電源ボタン -- このボタンを押すと、本体の電源がスタンバイ状態になります。
9　表示部 -- ここに、再生中の情報が表示されます。

注意：上記 3 から 8 のボタンは、DVD プレーヤーでの再生時のみ有効です。HD カセットからの再生時には使用できません。

2）本体背面



10　光デジタル出力 -- 市販のデジタル音声ケーブルを接続します。
11　COAXIAL デジタル出力 –- 市販の同軸デジタルケーブルを接続します。
12　コンポジットビデオ出力 -- 付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
13　コンポジットオーディオ出力 -- 付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
14　コンポーネントビデオ出力 -- 市販のコンポーネントケーブルを接続します。
15　S ビデオ出力 -- 市販の S ビデオケーブルを接続します。
16　主電源スイッチ　-- 本体の主電源の ON/OFF スイッチです。
17　電源ケーブル -- ご家庭の電源に接続します。

３）リモコン

リモコンの左上から順番に説明します。リモコンに表示されている文字と比べてお読みください。

なお、下記は、DVD ビデオを再生するときの操作方法を記載しています。音楽 CD やビデオ CD およびファイルを再生するときは、違う操作になるボタンもあります。

1 STANDBY --- 主電源が ON の状態で本体の電源の ON/OFF ができます。
2 HDD --- HD カセットからの再生ができます。
3 DVD --- DVD プレーヤーからの再生ができます。
4 OPEN/CLOSE --- DVD プレーヤーのトレイの開け閉めができます。
5 AUDIO --- DVD ビデオのオーディオの設定ができます。
6 ANGLE --- 複数のアングルを持つ、DVD ビデオのアングルの選択ができます。
7 SUBTITLE --- DVD ビデオの字幕の選択ができます。
8 １～０（数字ボタン）--- 数字の入力ができます。
9 HDD OFF --- HD カセットの機能を OFF します。
10 PRG --- 再生する映像をプログラムできます。
11 CLR --- 設定をクリヤーします。
12 TITLE --- DVD ビデオのタイトル画面に飛びます。
13 MENU --- DVD ビデオのメニュー画面に飛びます。
14 上下左右ボタン --- 画面中のカーソルを上下左右に移動します。
15 ENTER --- カーソルが選択している項目を決定します。
16 SEACH --- タイムサーチ画面が表示されます。
17 DISPLAY --- 再生している情報を画面上に表示します。
18 MUTE --- 音声の出力を停止します。
19 RETURN --- 前に表示していた画面に戻ります。
20 SETUP --- 設定画面を表示します。
21 VOL+ --- 音量を大きくします。
22 VOL- --- 音量を小さくします。
23 SLOW --- スローで再生します。1/2→1/4→1/8 倍速で速度が切り替わります。
24 STEP --- コマ送り再生します。
25 ZOOM --- 再生している映像を拡大表示します。1.5 倍、2 倍、3 倍で拡大表示します。上下左右キーで拡大している場所を移動できます。
26 REPEAT --- 繰り返し再生します。
27 A-B --- 指定した範囲での繰り返し再生を行います。
28 RANDOM --- 再生できるファイルをランダムに再生します。
29 FB --- 巻き戻し再生します。2 倍→4 倍→6 倍→8 倍で切り替えできます。
30 FR --- 早送り再生します。2 倍→4 倍→6 倍→8 倍で切り替えできます。
31 PREV --- 前に再生していたトラックに移動します。
32 NEXT --- 次のトラックに移動します。
33 STOP --- 再生を停止します。
34 PAUSE --- 再生を一時停止します。
35 PLAY --- 再生を行います。

1-5　制限事項

本製品には下記の制限事項があります。

■　ファイナライズされていないあるいはパケットライトした CD-R/RW のディスクを再生した場合、再生できないかあるいは時間表示がおかしくなることがあります。

■　VR フォーマットで書き込まれた DVD-R/RW、DVD+R/RW は再生できません。

■　地域コードが「2」以外の DVD ビデオの再生はできません。

■　映像出力を家庭用テレビ以外の機器（例えばビデオデッキなど）を経由して接続した場合、正常に表示されない場合があります。

■　DVD ビデオ再生時、DVD ビデオによっては。SEARCH 機能、ZOOM 機能など使えない場合があります。

■　ハードディスクに保存した MPEG2 ファイルで 6Mbps を超えるビットレートで保存した映像は、スムースに再生されない場合があります。DVD プレーヤーからの再生であれば問題ありません。

■　再生する映像によっては、巻き戻し、早送りができない場合があります。

■　Mac で使用する場合には、あらかじめ Windows パソコンで、HD カセットに実装したハードディスクを FAT32 でフォーマットする必要があります。Mac でフォーマットした状態では、本製品で動作しない場合があります。NTFS でフォーマットすると、Mac で使用できません。

■　HD カセットのハードディスクを FAT32 でフォーマットされた場合、下記の制約があります。

1) 4GB 以上のファイルが扱えません。

2) 1 つのパーティションのサイズは、32GB までです。例えば、120GB のハードディスクを HD カセットに実装しても 32GB のハードデイスクとしてしか使えません。

3) 漢字(2 バイト文字)を使ったフォルダ、ファイルは、正常に表示されません。

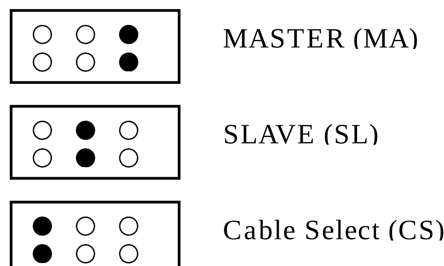
NTFS フォーマットにすれば、1),2)については、無制限に使えます。3)については、頭の 6 文字まで正常に表示されます。

■　HD カセットのフォルダの中にたくさんのファイルを保存すると、読み込みに時間がかかります。再生するファイルは整理してフォルダ分けして保存してください。

2-1　HD カセットの準備

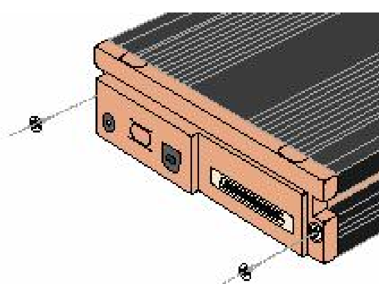
ここでは、HD カセットにハードディスクを組み込む方法について記載します。
取り付けるハードディスクは、マスターモードあるいシングルモードに設定してください。

1）ハードディスクの設定
この設定は、ドライブによって異なりますが、必ずこのモード設定をするジャンパーがドライブにはあります。

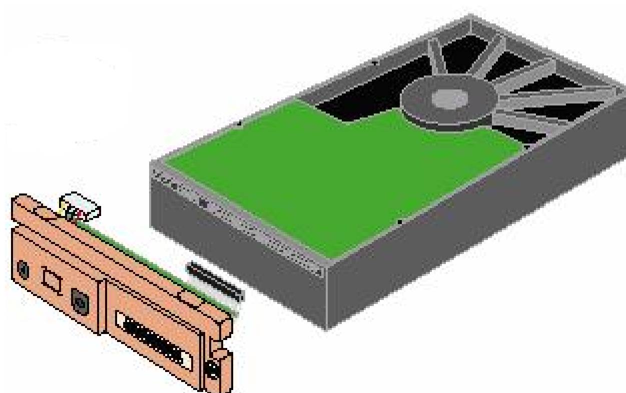


ジャンパーをどのように設定すれば、どのモードになるかは、ドライブのジャンパーピンの上面に刻印で書かれているか、ハードディスクの上面に記載されています。
例えば、右のように書かれているドライブの場合は、MASTER（MA）になるようにジャンパーを設定してください。
また、ハードディスクによっては、Single モードというモードがあるドライブもあります。その場合は、Single モードに設定してください。

2）HD カセットのカバーを取り外す
下記のようにネジを 2 箇所取り外してください。これにより、カバーと基板をケースから取り外せます。

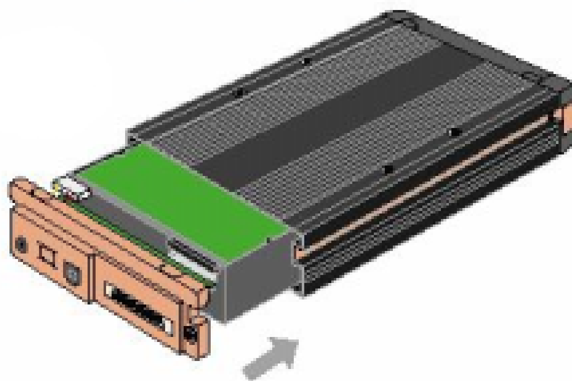


3）ケーブルの接続
マスターモードあるいはシングルモードに設定したハードディスクを、先に取り外した基板の信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。



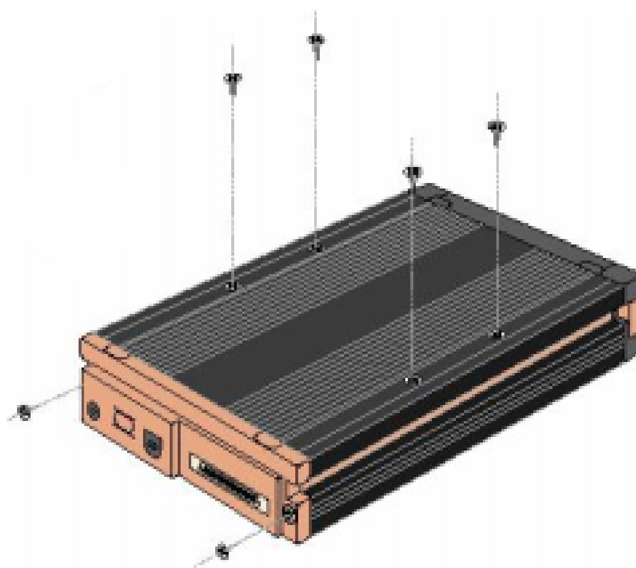
４）ケースに実装

ケーブルを取り付けたまま、ケースに静かにハードディスクと基板を収めてください。



５．ネジで固定

ハードディスクは、ケースの底面で付属のねじで 4 箇所固定します。
先ほど、外したカバーのネジ（2 箇所）を締めて、カバーを固定してください。



これで実装完了です。

2-2　リモコンに電池を入れる

リモコンに電池を入れて、リモコンが使えるようにします。
本製品のリモコンは、単 4 の乾電池 2 本で動作します。（乾電池 2 本は本製品に付属しています。）
リモコンの背面にある電池カバーを外して、＋－の極性に注意して電池を入れてください。＋－の極性は、電池カバーを空けた、その中に記載されています。



電池カバー
このカバーを空けて電池を入れてください。

2-3　テレビ、スピーカとの接続

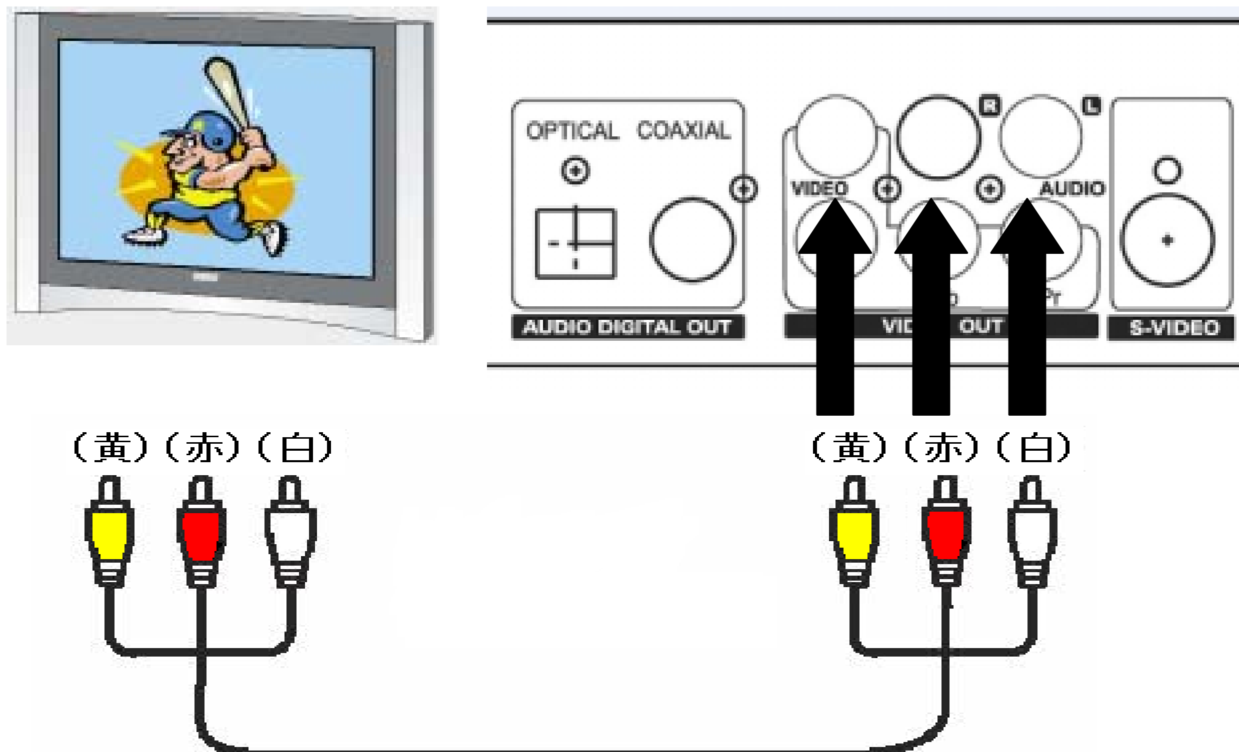
本製品を家庭用のテレビに接続する方法として、映像は、下記の 3 つのタイプがあります。
・コンポジットビデオ出力（黄色の RCA 端子）
・S ビデオ出力（ミニ DIN4 ピン）
・コンポーネント出力（緑、青、赤の RCA 端子）
コンポジット出力よりも、S ビデオ出力。S ビデオ出力よりもコンポーネント出力の方が、より高品質の画質が得られます。

音声は、下記の 3 つのタイプがあります。
・コンポジットオーディオ出力（赤と白の RCA 端子）
・COAXIAL デジタルオーディオ出力（黒の RCA 端子）
・光デジタルオーディオ出力（光角型端子）
COAXIAL と光デジタルは、同時に使用できません。デジタルオーディオ出力を使うと、ドルビーデジタルや DTS などの迫力ある音声を楽しむことができます。（接続する音響機器が、それらに対応している場合）

本製品には、コンポジットビデオ/オーディオ出力のケーブルだけ付属しています。S ビデオあるいはコンポーネント出力あるいはデジタルオーディオ出力をお使いの場合は、別途ケーブルをご用意ください。

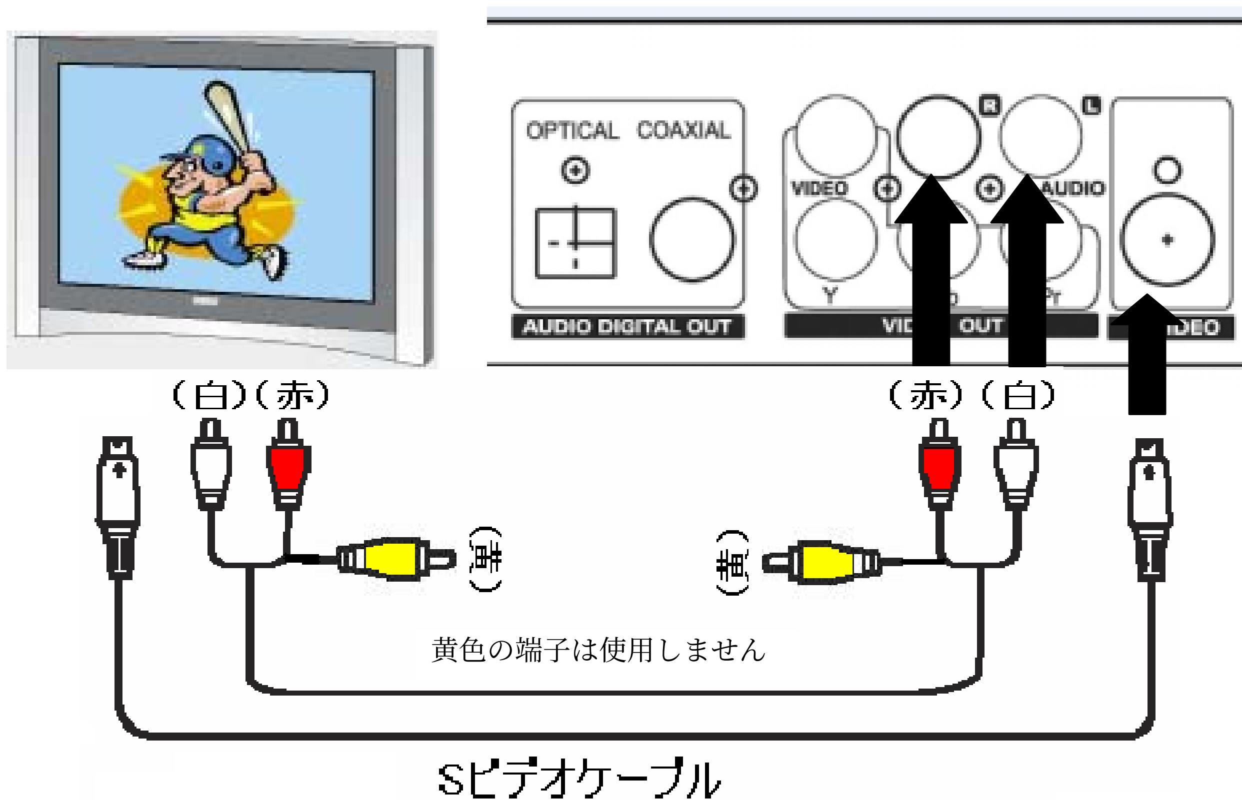
1）コンポジットビデオ/オーディオ出力の接続

付属のコンポジットビデオ/オーディオケーブルで本製品と家庭用テレビとを接続します。



2）S ビデオ出力とコンポジットオーディオ出力の接続

付属のコンポジットビデオ/オーディオ出力ケーブルの白と赤の端子でオーディオだけ接続し、S ビデオケーブル（市販品）でビデオを接続します。コンポジットビデオより、画質は良くなります。



３）コンポーネントビデオ出力での接続

お使いの家庭用テレビにコンポーネントビデオの入力あるいは D 入力端子がある場合、本製品のコンポーネントビデオ出力を使われた方が画質は良くなります。

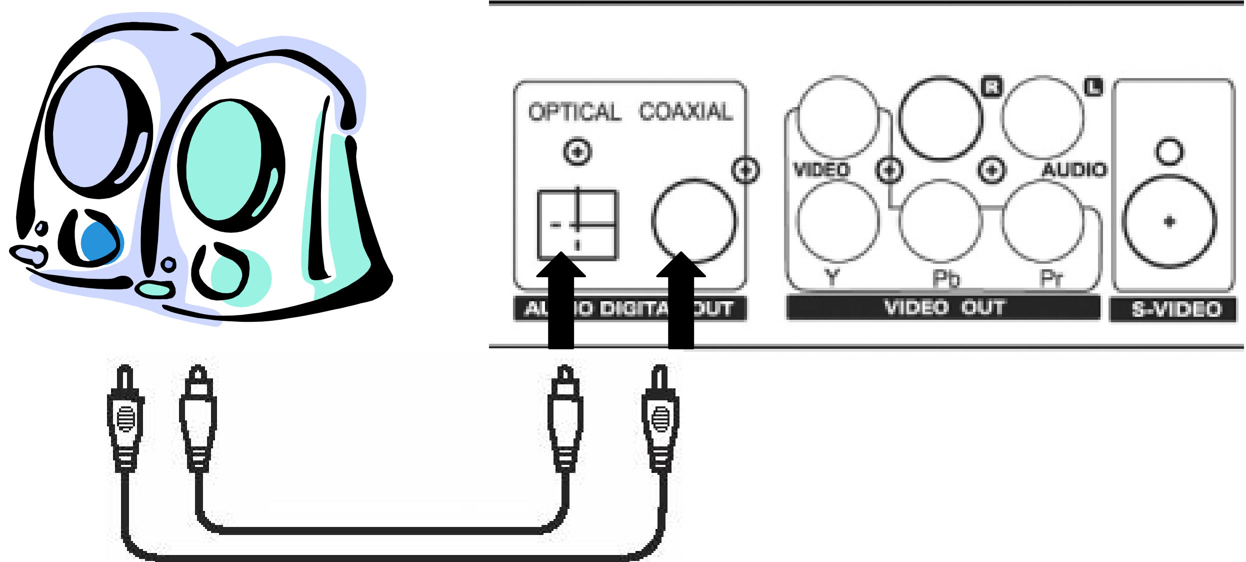
本製品のコンポーネントビデオ出力は、RCA コネクタ（緑、青、赤）になっています。お使いの家庭用 TV と本製品を接続できるケーブル（市販品）をご用意し、それで接続ください。

オーディオは、コンポジットオーディオあるいは後述するデジタルオーディオの接続が必要です。

４）デジタルオーディオの接続

COAXIAL 端子あるいは、光デジタル入力がある、テレビあるいは音響機器をお持ちの場合、本製品の COAXIAL デジタル出力端子あるいは光デジタル出力端子を使われると、迫力のあるドルビーサウンドを楽しむことができます。

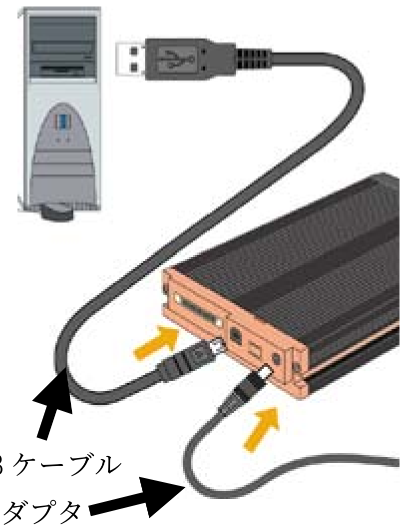
それぞれ市販のケーブルをご用意ください。



注意：COAXIAL デジタル出力端子と光デジタル端子は同時には使用できません。いづれか一方のみ接続してください。

3-1　HD カセットの接続

１）HD カセットをパソコンに接続



右のように付属の AC アダプタと USB ケーブルを HD カセットに接続し、AC アダプタを家庭用の電源に接続してから、Windows 2000/XP あるいは Mac のパソコンの USB ポートに USB ケーブルを接続してください。
自動的にパソコンに認識されます。（ドライバのインストールなどは不要です。）
※Windows 98SE/Me では、使用できません。
また、Mac OS の場合、あらかじめ Windows パソコンで FAT32 での初期化が必要です。Mac で認識されても、本製品で認識されない場合があります。
必ず、下記の「ハードディスクの初期化」を行ってからお使いください。
※背面の電源ボタンで電源供給の ON/OFF ができます。ただし
USB ケーブルがパソコンに接続されている状態では機能しません。
AC アダプタを接続したままの状態で電源の ON/OFF をするのに
便利にお使いいただけます。

２）ハードディスクの初期化

パソコンに接続すると、HD カセットの電源が点灯し、自動的にパソコンに認識されます。
Windows の場合は、「マイコンピュータ」を開くと、HD カセットのドライブのアイコンが表示されます。
Mac OS の場合は、「デスクトップ」上にアイコンが表示されます。

表示されない場合は、実装したハードディスクを初期化する必要があります。
その方法を以下に説明します。
初期化する前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

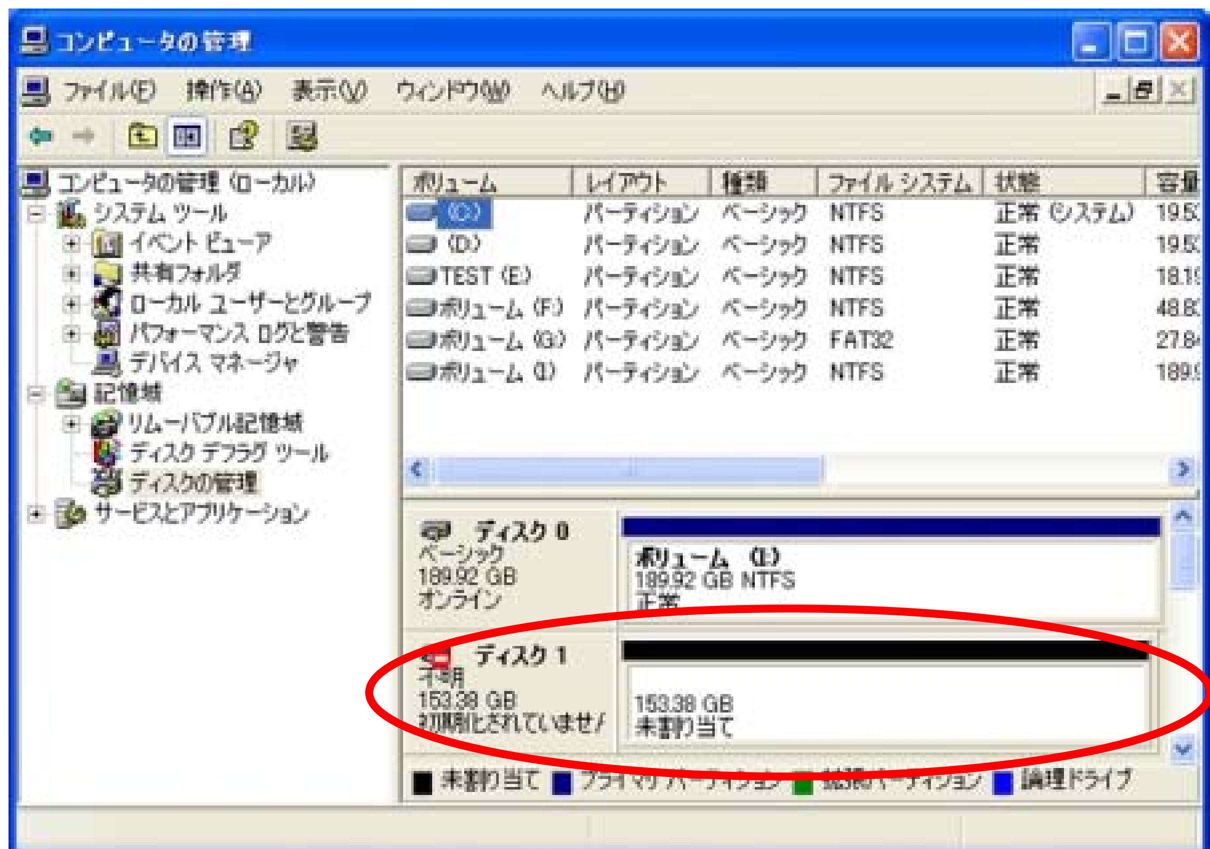
注意：
＊Mac OS をご利用の場合でも、Windows での初期化が必要になります。Mac での初期化では、本製品では認識されません。
＊Mac OS でお使いの場合は、FAT32 でのフォーマットになります。その場合、下記の制限があります。
　　１つのファイルの最大サイズ　　　　4GB まで
　　１つのパーティションの最大サイズ　32GB まで
＊初期化をすると、ハードディスク内のデータは、すべて消去されます。必要なデータは、あらかじめ別のメディアに保存してください。
＊本製品では、1 つのパーティションしか使用できませんので、ここでの説明は、１パーティションの方法だけ記載します。
＊Windows だけでお使いの場合は、１パーティションで容量制限のない NTFS でのフォーマットを推奨します。（FAT32 ですと、１パーティションで最大 32GB という制限があります）

Windows XP/2000 でのハードディスク初期化の方法

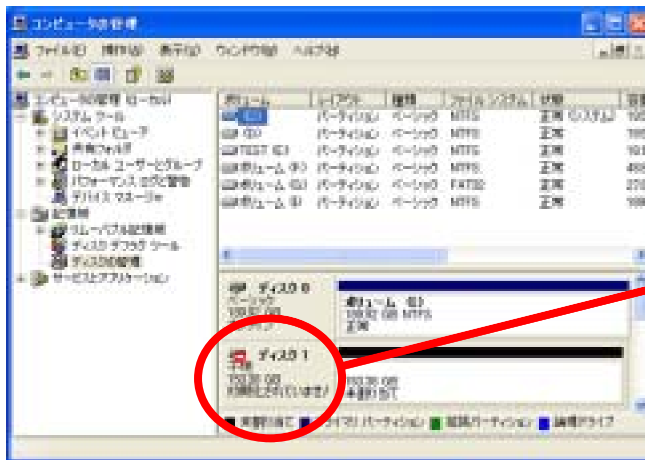
コンピュータの管理画面を開きます。

Windows の「スタート」メニューから、「設定」⇒「コントロールパネル」⇒「管理ツール」⇒「コンピュータの管理」を開いて、「記憶域」の中にある「ディスク管理」をクリックすると、下のような画面が表示されます。
右下にある ” ディスク１” が、本製品に実装されたハードディスクの情報です。
ただし、これは、お使いになっているパソコンの環境によって異なります。もし、パソコンに 2 台のハードディスクを実装されている場合は、“ ディスク 2 ” になります。ご注意ください。

まず、“ ディスク１” と書かれた箇所に赤い “ ― ” マークが付いているか確認ください。
付いている場合は、“ 手順 A ” に従って初期化を行ってください。
付いていない場合は、“ 手順 B ” に従って初期化を行ってください。



手順 A



赤い“ — ”がある

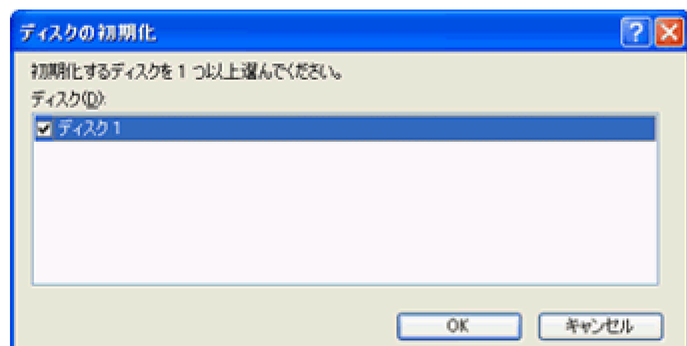


上記のように“ディスク１”の左側に赤い“ — ”が付いている場合は、以下の手順になります。

”ディスク１”の上にマウスを合わせ、マウスの左ボタンをクリックすると、以下に説明するウィザードが起動し初期化が可能となります。

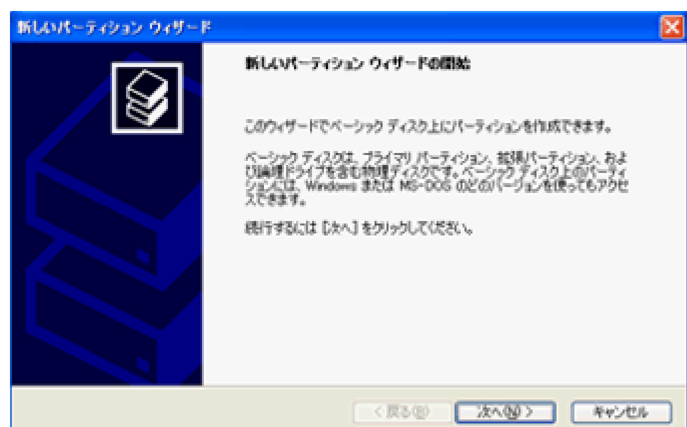
ディスク１の上をクリックすると、右の画面が表示されます。

「OK」をクリックして先に進んでください。



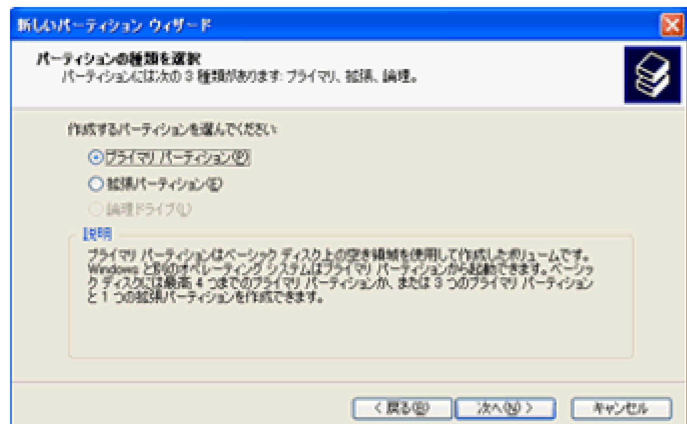
ウィザードの最初の画面です。

作業を進める場合は、「次へ」をクリックしてください。



次にプライマリパーティションと論理パーティションの設定を行います。

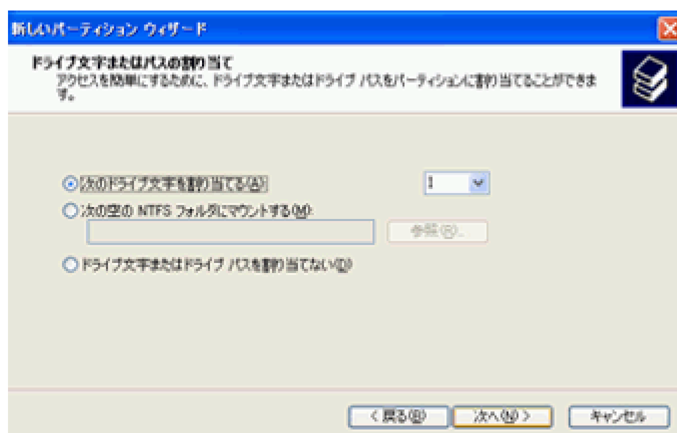
右のように、プライマリパーティションの設定を行ってください。
「次へ」をクリックします。



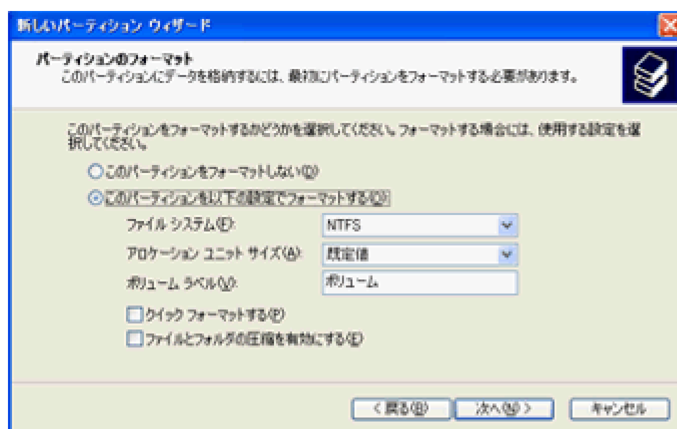
本製品に実装したハードディスクを１つのパーティションとして使用しますので、右のようにパーティションのサイズを最大にしてください。
Mac でお使いになる、FAT32 では、最大 32GB ですので、この値を 32000 にしてください。
「次へ」をクリックしてください。



ドライブ文字の指定また、ドライブパスをパーティションに割り当てることが右の画面でできます。
この話は、難しいですので、ここでは、省略させていただきます。詳しくは、Windows のヘルプをご参照ください。
「次へ」をクリックしてください。

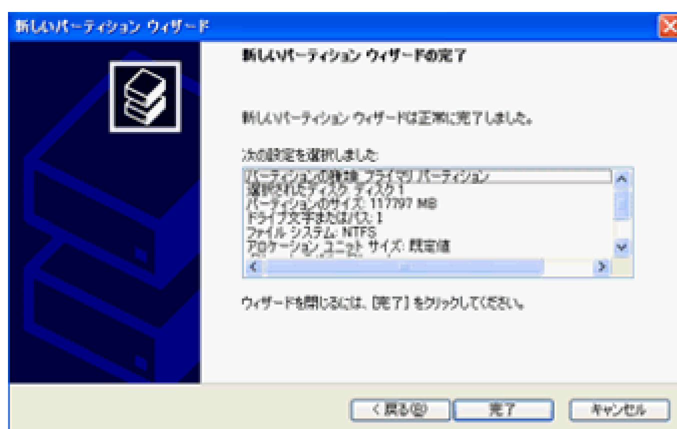


ファイルシステムの設定が行えます。
Windows だけで使う場合は、「NTFS」にしてください。
Mac でお使いになる場合は、FAT32 になります。その場合は、最大 32GB ですので、この値を 32000 にしてください。
「次へ」をクリックします。

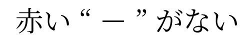


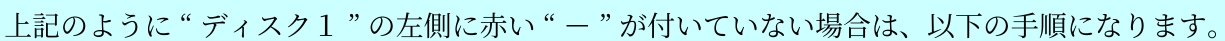
ウィザードの完了画面が右です。

「完了」をクリックすると、ウィザードから抜け、フォーマットが始まります。



手順 B

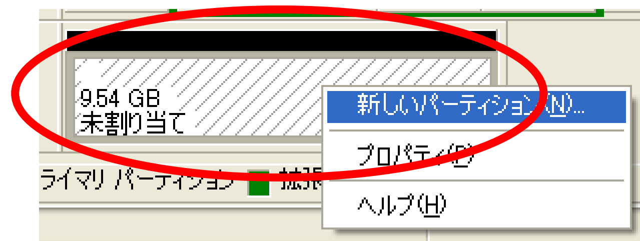

赤い“ ― ”がない


上記のように“ ディスク１ ”の左側に赤い“ ― ”が付いていない場合は、以下の手順になります。

右の丸で囲った部分が右のように「正常」と表記されている場合、この上にマウスを合わせて、マウスの右ボタンを押すと、右のメニューが表示されます。
そのメニューから「パーティションの削除」をクリックしてください。
「未割り当て」となっている場合は、次のページを参照してください。

左の画面が表示されます。
「はい」をクリックしてください。

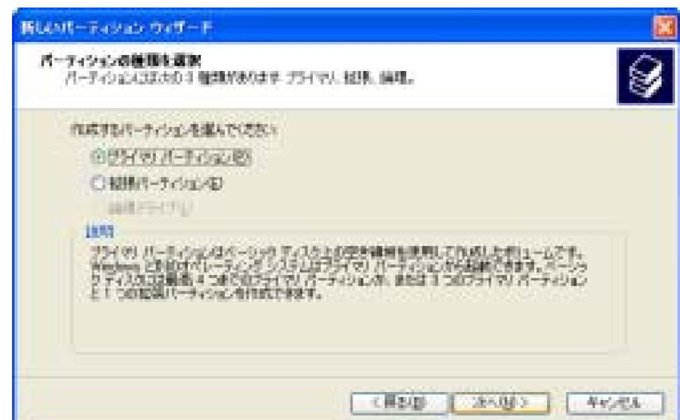
右の丸で囲った部分が右のように「未割り当て」と表記されている場合、この上にマウスを合わせて、マウスの右ボタンを押すと、右のメニューが表示されます。
そのメニューから「新しいパーティション」をクリックしてください。





ウィザードの最初の画面です。

作業を進める場合は、「次へ」をクリックしてください。



次にプライマリパーティションと論理パーティションの設定を行います。

右のように、プライマリパーティションの設定を行ってください。
「次へ」をクリックします。

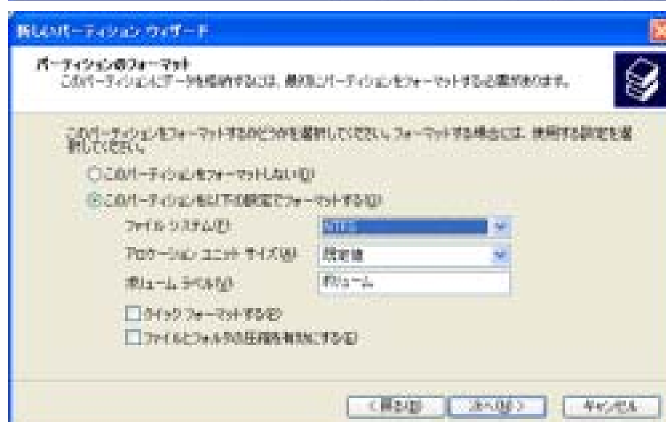


本製品に実装したハードディスクを 1 つのパーティションとして使用しますので、右のようにパーティションのサイズを最大にしてください。
Mac でお使いになる場合は、FAT32 になります。その場合は、最大 32GB ですので、この値を 32000 にしてください。
「次へ」をクリックしてください。

ドライブ文字の指定また、ドライブパスをパーティションに割り当てることが右の画面でできます。
この話は、難しいですので、ここでは、省略させていただきます。詳しくは、Windowsのヘルプをご参照ください。
「次へ」をクリックしてください。

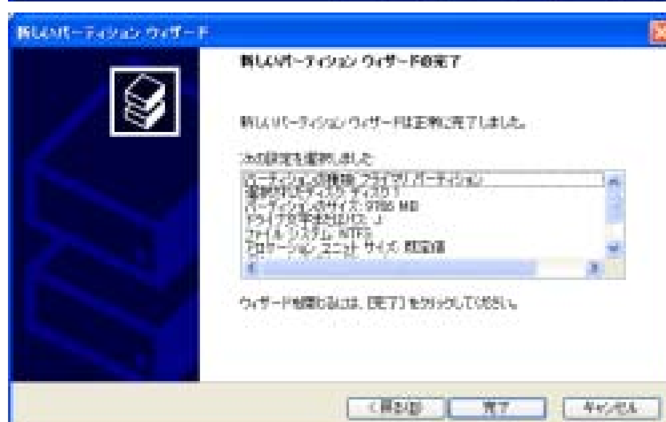


ファイルシステムの設定が行えます。
Windows だけで使う場合は、「NTFS」にしてください。
Mac で使う場合は、「FAT32」にしてください。ただし、FAT32 では、32GB 以上でのフォーマットはできません。
「次へ」をクリックします。



ウィザードの完了画面が右です。

「完了」をクリックすると、ウィザードから抜け、フォーマットが始まります。



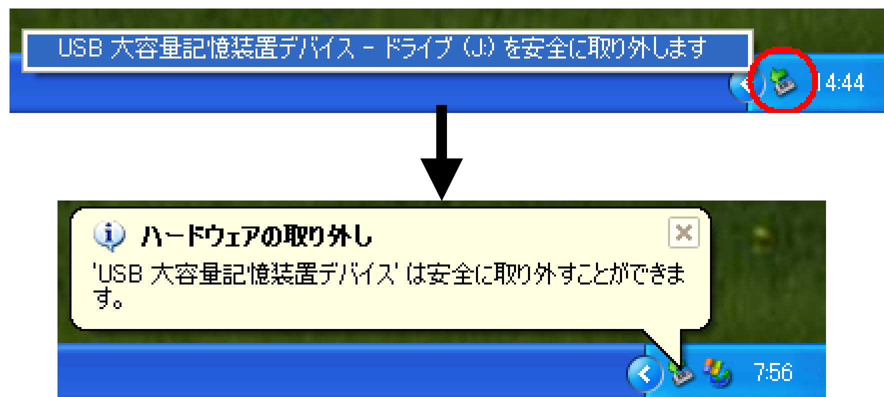
3）再生するデータのコピー

パソコンに HD カセットが認識されたら、本製品で再生したいファイルを HD カセットにコピーまたは移動してください。

4）HD カセットをパソコンから外す

必要なファイルをコピーしたら、HD カセットをパソコンから外しますが、その際、下記の手順で安全に外してください。

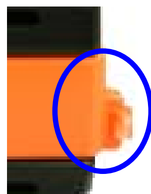
HD カセットを USB インタフェースでパソコンに接続すると、Windows のタスクバーに下記のように○で囲ったアイコンができます。このアイコンの上でマウスをクリックすると、メニューが表示されますので、このメニューをクリックしてください。しばらくすると、下記のように「ハードウェアの取り外し」が表示されます。これで、HD カセットをパソコンから安全に取り外せます。USB ケーブルを外してください。
下記は Windows XP の画面ですが、Windows 2000 でも同様の方法になります。



5）HD カセットを本体に実装
HD カセットを本体の HD ゲート部に挿入します。
HD カセットの挿入は、本製品の DVD プレーヤーで再生中でも可能です。

右のように HD カセットの右側のオレンジのバーを 90 度に開き、本体の HD カセット挿入口に挿入してください。

バーを横にすると、右のように少し、外に出っ張った箇所があります。この出っ張りを本体の挿入口に中に入るように HD カセットを入れます。





最後にバーを閉じるとロックされます。
右が本体に正常に挿入できた状態です。
「HDD」ボタンを押すと、HD カセットからの再生ができます。

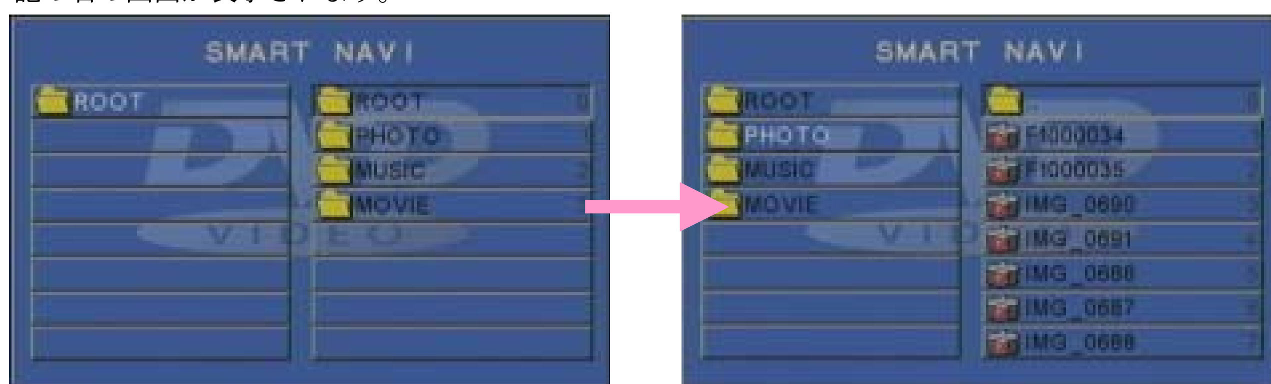
6）HD カセットを本体から外す
HD カセットを本体から外すときは、本体裏面の主電源スイッチを OFF にするか、リモコンの「HDD OFF」ないし「STANDBY」ボタンを押してから、HD カセットの右側のバーを 90 度に飛来てから、取り出します。
※決して上記操作をしないで HD カセットを取り出さないで下さい。
※「HDD OFF」ボタンを押すと、リモコンあるいは本体のボタンで HD カセットからの再生はできなくなります。一度、HD カセットを抜き差しし、「HDD」ボタンを押すと HD カセットからの再生が可能になります。

3-2　HD カセットからの再生

ここでは、HD カセットにコピーしたファイルの再生方法について説明します。

本製品の電源を入れる（背面の電源スイッチを ON にしリモコンの「STANDBY」ボタンを押す）と、DVD プレーヤーの再生を優先して動作します。（メディアがセットされている場合は再生を始めます。）「HDD」ボタンを押すことで HD カセットからの再生画面になります。
自動的に HD カセットに入っている映像や音楽、写真などのデータを検索し、下記の左ような画面が表示されます。（この画面は、保存されているデータにより異なります。）
注意：後述する詳細設定で説明する、“SMART NAVI”を禁止していると、この画面は表示されません。

下記に操作例を示します。左の画面は、HD カセットのルートフォルダ（一番上のフォルダ）に“PHOTO”、“MUSIC”、“MOVIE”の 3 つのフォルダがあることを意味します。
上下ボタンでカーソルを移動し、“PHOTO”が選択されたところで、”ENTER“ボタンを押してください。
下記の右の画面が表示されます。



右の画面で表示したいファイルを上下ボタンでカーソルを移動し、「ENTER」ボタンを押すことで、そのファイルの再生ができます。
左ボタンを押すと、カーソルが左側に移り、“ROOT”、“PHOTO”、“MUSIC”、“MOVIE”のフォルダを選択できます。
基本的な操作はこれだけです。
この画面を“SMART NAVI”画面と呼びますが、以下、”SMART NAVI“画面が表示されているときの操作方法を説明します。

１）”SMART NAVI”画面での操作

ここでは、リモコンを使っての HD カセットの“SMART NAVI”が表示されているときの操作方法について記載します。

操作できないボタンを押した場合、画面の左上に右の「手のマーク」が表示されます。



■　ダイレクト選択



「数字」ボタンから“SMART NAVI”の右側にあるリストの数字を入力し、「ENTER」ボタンを押すことで、直接そのファイルを再生することができます。右で”3”ボタンを押して、「ENTER」ボタンを押すと、[AVI_LOW]ファイルの再生ができます。

■　オーディオの切り替え

「AUDIO」ボタンを押すと、AUDIO A0-A7,C0-C7,80-87 の設定ができます。再生するファイルによって、この設定を変えないと音が出ない場合があります。

■　サムネイル表示

ファイルが選択されている状態（フォルダが選択されている状態では動作しません）で「TITLE」あるいは「MENU」ボタンを押すと、9 分割のサムネイル表示ができます。ここから再生したいファイルの選択ができます。

■　カーソルの移動と決定

上下左右ボタンでカーソルを移動できます。「ENTER」ボタンを押すと、選択されたファイルの再生や、選択されたフォルダの中に入ることができます。

■　ミュート（オーディオの出力を停止）

「MUTE」ボタンを押すと、再生するファイルの音がスピーカから聞こえなくなります。再度「MUTE」ボタンを押すと、元に戻ります。

■　情報の表示

「DISPLAY」ボタンを押すと、選択されたフォルダあるいはファイルの情報が表示されます。

■　音量の変更

「VOL+」「VOL-」ボタンで音量の調整ができます。

■　音楽付スライドショーの選択

「STEP」ボタンを押すと、下記のモードが切り替わります。

「MUSIC SLIDE SHOW MODE」⇒「MUSIC SLIDE SHOW MODE2」⇒「MUSIC SLIDE SHOW MODE3」⇒「EXIT MUSIC SLIDE SHOW MODE」

映像と音楽を一緒に再生できるモードを選択できます。

■　繰り返し再生

「REPEAT」ボタンを押すと、「1 回繰り返し」⇒「フォルダ繰り返し」⇒「シングル」⇒「繰り返し OFF」と繰り返し再生のモードが選択できます。

■　再生の開始

再生したいファイルを選択し、「PLAY」ボタンを押すと、そのファイルの再生を行います。

3-3　DVD プレーヤーからの再生

本製品の電源を入れる（背面の電源スイッチを ON にしリモコンの「STANDBY」ボタンを押す）と、DVD プレーヤーにセットされているメディアの再生を行います。

HD カセットの再生をしているときは、「DVD」のボタンを押すことで、DVD プレーヤーから再生を行います。以下、再生するタイトル別にその使い方を説明します。

１）DVD ビデオの再生中の操作

ここでは、リモコンを使っての DVD ビデオの再生時の操作方法について記載します。
DVD ビデオによっては、操作に制限のある場合があります。詳しくは、DVD ビデオに付属されているマニュアルを参照ください。なお、操作できないボタンを押した場合、画面の左上に下記の「手のマーク」が表示されます。



下記の操作は、すべて DVD ビデオの再生中に操作可能です。

■　音声の切り替え

「AUDIO」ボタンを押してください。複数の音声言語を持っている DVD ビデオの場合、あるいは DTS、AC-3 などのオーディオの出力の変更がでいます。画面の上部にその情報が表示され、このボタンを押すたびに DVD ビデオを持っている音声のデータを画面に表示されます。

■　アングルを変更

複数のアングルに対応している DVD ビデオの場合、「ANGLE」ボタンを押すことで、その変更ができます。

■　字幕の切り替え

「SUBTITLE」ボタンを押してください。複数の字幕を持っている DVD ビデオの場合、このボタンを押すことで、変更ができます。字幕の情報は、画面の上部に表示されます。

■　タイトルメニュー、メニューの表示

「TITLE」ボタン、「MENU」ボタンを押すことで、再生している DVD ビデオのタイトルメニュー、メニューに移動します。

■　再生時間の直接指定

「SEARCH」ボタンを 2 回押すと、数字ボタンから直接時間が入力できる画面が、画面上部に表示されます。数字ボタンで、「時間」「分」「秒」を入力してから「ENTER」ボタンを押してください。

■　情報の表示

「DISPLAY」ボタンを押すと、画面上部に再生している DVD ビデオの時間を表示できます。
「最初からの経過時間」⇒「残り時間」⇒「チャプターの経過時間」⇒「チャプターの残り時間」⇒「表示なし」の切り替えができます。

■　ミュート（オーディオの出力を停止）

「MUTE」ボタンを押すと、DVD ビデオの音がスピーカから聞こえなくなります。再度「MUTE」ボタンを押すと、元に戻ります。

■　音量の変更

「VOL+」「VOL-」ボタンで音量の調整ができます。

■　スロー再生

「SLOW」ボタンを押すたびに、1/2（SF）⇒1/4（SF)⇒1/8（SF）⇒1/2（SR）⇒1/4（SR)⇒1/8（SR）⇒PLAY の切り替えができます。

SF は、スロー再生。SR は、巻き戻しのスロー再生です。

■　コマ送り再生

「STEP」ボタンを押すたびに、静止画をひとコマずつ表示します。「PLAY」ボタンで通常の再生に戻ります。

■　ズーム

「ZOOM」ボタンを押すと、1.5 倍⇒2 倍⇒3 倍のズームの倍率が選択できます。ズーム中は、上下左右キーで表示する場所を移動することができます。

■　繰り返し再生

「REPEAT」ボタンを押すと、チャプターリピート⇒タイトルリピート⇒リピート OFF の順に切り替わります。これで、チャプターやタイトルでの繰り返し再生ができます。

「A-B」ボタンを押すと、最初に押した地点が“A”になります。再度「A-B」ボタンを押すと、その地点が”B”になり、“A”地点と”B”地点の繰り返し再生が始まります。再度「A-B」ボタンを押すことで、繰り返し再生を中止します。

■　早送り、巻き戻し

「FB」ボタンを押すと、巻き戻し再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍と変化します。

「FF」ボタンを押すと、早送り再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍と変化します。

■　チャプター（トラック）の変更

「NEXT」ボタンを押すと、次のチャプターの再生をします。「PREV」ボタンを押すと、前のチャプターを再生をします。これらのボタンを押すと、画面上部に現在再生しているチャプターが表示されます。

「SEARCH」ボタンを押して、「数字」ボタンで直接見たいチャプターを入力し、「ENTER」ボタンを押すことで、直接そのチャプターを見ることもできます。

■　再生の停止

「STOP」ボタンを押すと、画面上に「PRESS PLAY TO CONTINUE」と表示され再生を停止します。

このままの状態で放置しておけば、「PLAY」ボタンを押すことで、停止した場所からの再生が行えます。

■　一時停止

「PAUSE」ボタンを押すと、再生を停止します。「PLAY」ボタンを押すことで、停止している場所から通常の再生に戻ります。

２）ビデオ CD の再生中の操作

ここでは、リモコンを使ってのビデオ CD の再生時の操作方法について記載します。

ビデオ CD によっては、操作に制限のある場合があります。詳しくは、ビデオ CD に付属されているマニュアルを参照ください。なお、操作できないボタンを押した場合、画面の左上に下記の「手のマーク」が表示されます。

下記の操作は、すべてビデオ CD の再生中に操作可能です。



■　メニューから番号を選択

多くのビデオ CD 2.0 の場合、メニュー画面が表示され、お好みの画面を数字ボタンから選択するようになっています。

メニュー画面が表示されたら、「数字」ボタンから、見たい項目の番号を入力してください。数字を入力してから「ENTER」ボタンを押す必要があるビデオ CD もあります。

■　再生時間の直接指定

「SEARCH」ボタンを押すと、数字ボタンから直接時間が入力できる画面が、画面上部に表示されます。

数字ボタンで、「分」「秒」を入力してください。

■　PBC OFF

ビデオ CD2.0 のビデオ CD をビデオ CD1.1 で動作させるには、「MENU」ボタンを押してください。これにより、PBC が OFF になり、ビデオ CD1.1 で見ることができます。再度「MENU」ボタンを押すと、PBC が ON になり、ビデオ CD2.0 で見ることができます。

■　情報の表示

「DISPLAY」ボタンを押すと、画面上部に再生しているビデオ CD の時間情報を表示できます。

「トラックの経過時間」⇒「トラックの残り時間」⇒「表示なし」の切り替えができます。

■　ミュート（オーディオの出力を停止）

「MUTE」ボタンを押すと、ビデオ CD の音がスピーカから聞こえなくなります。再度「MUTE」ボタンを押すと、元に戻ります。

■　音量の変更

「VOL+」「VOL-」ボタンで音量の調整ができます。

■　スロー再生

「SLOW」ボタンを押すたびに、1/2（SF）⇒1/4（SF)⇒1/8（SF）⇒1/2（SR）⇒1/4（SR)⇒1/8（SR）⇒PLAY の切り替えができます。

SF は、スロー再生。SR は、巻き戻しのスロー再生です。

■　コマ送り再生

「STEP」ボタンを押すたびに、静止画をひとコマずつ表示します。「PLAY」ボタンで通常の再生に戻ります。

■　ズーム

「ZOOM」ボタンを押すと、1.5 倍⇒2 倍⇒3 倍のズームの倍率が選択できます。ズーム中は、上下左右キーで表示する場所を移動することができます。

■　繰り返し再生

「A-B」ボタンを押すと、最初に押した地点が“Ａ”になります。再度「A-B」ボタンを押すと、その地点が”Ｂ”になり、“Ａ”地点と”Ｂ”地点の繰り返し再生が始まります。再度「A-B」ボタンを押すことで、繰り返し再生を中止します。

■　早送り、巻き戻し
「FB」ボタンを押すと、巻き戻し再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍⇒16 倍と変化します。
「FF」ボタンを押すと、早送り再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍⇒16 倍と変化します。
■　トラックの変更
「NEXT」ボタンを押すと、次のトラックの再生をします。「PREV」ボタンを押すと、そのトラックの先頭が再生されます。ただし、これは、ビデオ CD によって異なります。
■　再生の停止
「STOP」ボタンを押すと、再生しているビデオ CD によってメニュー画面に戻ったり、再生を中止したりします。DVD ビデオのようにその場所からの再生はできません。
■　一時停止
「PAUSE」ボタンを押すと、再生を停止します。「PLAY」ボタンを押すことで、停止している場所から通常の再生に戻ります。

３）音楽 CD の再生中の操作
ここでは、リモコンを使っての音楽 CD の再生時の操作方法について記載します。
操作できないボタンを押した場合、画面の左上に右の「手のマーク」が表示されます。

下記の操作は、すべて音楽 CD の再生中に操作可能です。

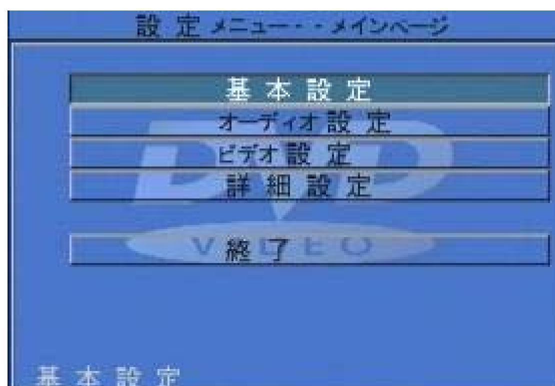
■　再生時間の直接指定
「SEARCH」ボタンを押すと、数字ボタンから直接時間が入力できる画面が、画面上部に表示されます。
数字ボタンで、「分」「秒」を入力してください。
■　情報の表示
「DISPLAY」ボタンを押すと、画面上部に再生している音楽 CD の時間情報を表示できます。
「トラックの経過時間」⇒「トラックの残り時間」⇒「すべての経過時間」⇒「すべての残り時間」⇒「表示なし」の切り替えができます。
■　ミュート（オーディオの出力を停止）
「MUTE」ボタンを押すと、音楽 CD の音がスピーカから聞こえなくなります。再度「MUTE」ボタンを押すと、元に戻ります。
■　音量の変更
「VOL+」「VOL-」ボタンで音量の調整ができます。
■　繰り返し再生
「REPEAT」ボタンを押すと、画面上に「REP-ONE」⇒「REP-ALL」⇒「REP-OFF」と表示が変わります。
「１曲繰り返し」⇒「すべての繰り返し」⇒「繰り返しなし」の意味で、その選択ができます。
「A-B」ボタンを押すと、最初に押した地点が“A”になります。再度「A-B」ボタンを押すと、その地点が”B”になり、“A”地点と”B”地点の繰り返し再生が始まります。再度「A-B」ボタンを押すことで、繰り返し再生を中止します。これは、同じトラック内でしか使用できません。

■　早送り、巻き戻し
「FB」ボタンを押すと、巻き戻し再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍⇒16 倍と変化します。
「FF」ボタンを押すと、早送り再生になります。押すたびにその速度が 2 倍⇒4 倍⇒6 倍⇒8 倍⇒16 倍と変化します。
■　トラックの変更
「NEXT」ボタンを押すと、次のトラックの再生をします。「PREV」ボタンを押すと、前のトラックの再生をします。
■　再生の停止
「STOP」ボタンを押すと、音楽 CD の再生を停止します。「PLAY」ボタンで音楽 CD の頭からの再生になります。DVD ビデオのようにその場所からの再生はできません。
■　一時停止
「PAUSE」ボタンを押すと、再生を停止します。「PLAY」ボタンを押すことで、停止している場所から通常の再生に戻ります。

４）ファイルの再生中の操作
CD や DVD に書き込んだ CD-R/RW や DVD-R/RW あるいは DVD+R/RW メディアを DVD プレーヤーにセットすることで、HD カセットと同じ操作でそれらのファイルの再生を行うことができます。
その操作方法は、「3-2 HD カセットからの再生」　を参照してください。

4-1　本製品の設定

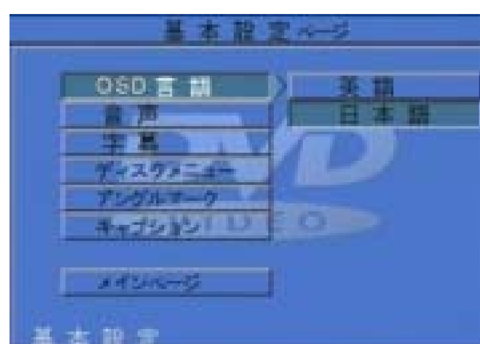
「SETUP」ボタンを押すと、下の「設定」画面が表示されます。
ここでは、この「設定」の使い方について説明します。



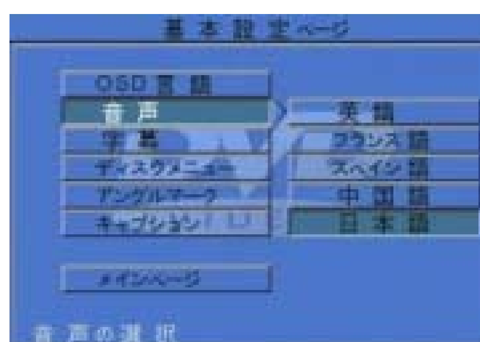
「上下左右」ボタンでカーソルを移動し、「ENTER」ボタンを押して項目を決定します。

1）基本設定
「基本設定」にカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。
以下、それぞれの項目について説明します。

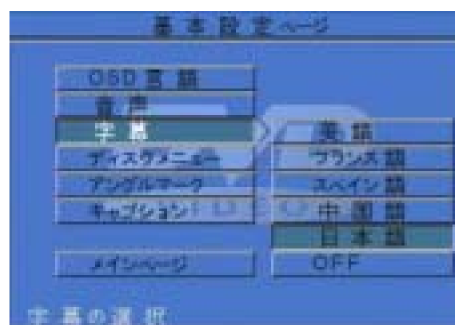
本製品が画面上に表示される言語の設定です。「英語」を選択すると、この「設定メニュー」表示も英語表示になります。



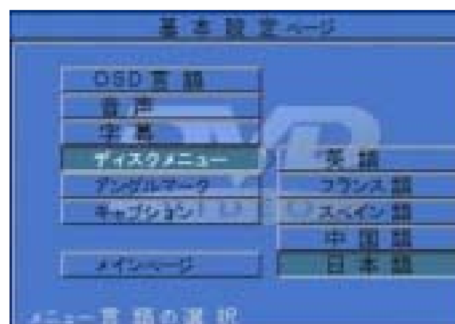
DVD ビデオの音声の設定ができます。これは、再生する DVD ビデオのメニューで設定できますので、このままお使用ください。



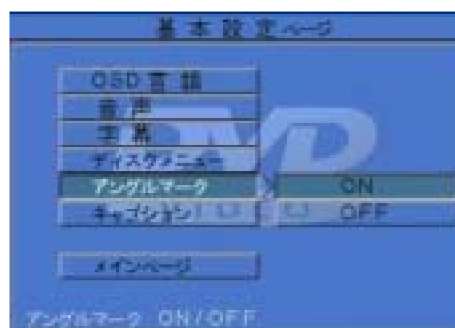
DVD ビデオの字幕言語の設定ができます。これは、再生する DVD ビデオのメニューで設定できますので、このままお使用ください。



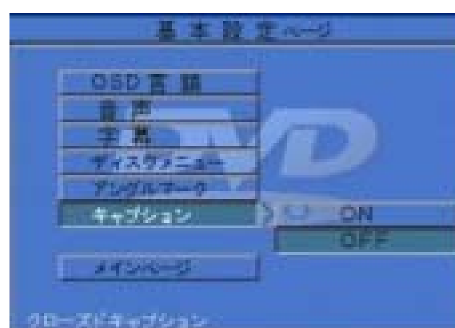
DVD ビデオのメニューの言語の設定ができます。これは、再生する DVD ビデオのメニューで設定できますので、このままお使用ください。



DVD ビデオのアングルマークの ON/OFF の設定です。



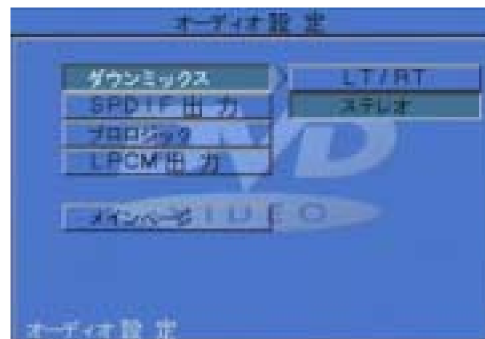
DVD ビデオのキャプションの ON/OFF の設定です。



２）オーディオ設定

「オーディオ設定」にカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。
以下、それぞれの項目について説明します。ここでの設定は、DVD ビデオ再生時のみに有効です。

ダウンミックスを LT/RT あるいはステレオ出力のいずれにするか選択できます。



ドルビーデジタルまたは DTS デコーダー内蔵の AV アンプに接続したときには、SPDIF/RAW を選択してください。PCM 出力するときは、SPDIF/PCM を選択してください。



プロロジック出力を OFF にするか ON にするかあるいは自動にするか選択できます。



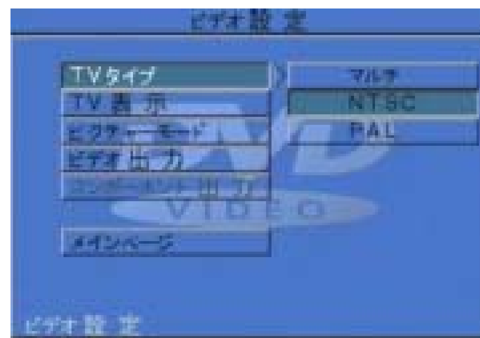
LPCM 出力を 48k にするか 96k にするか選択できます。



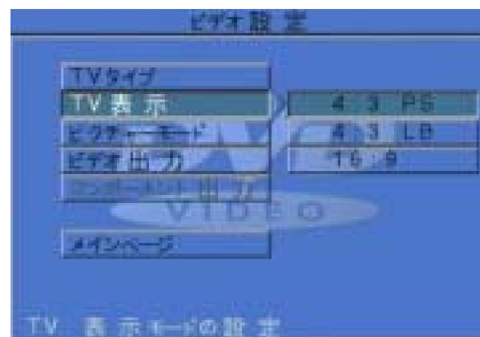
３）ビデオ設定

「ビデオ設定」にカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。
以下、それぞれの項目について説明します。

本製品を接続するテレビが、NTSC か PAL あるいはマルチタイプかの選択です。
日本のテレビの場合は、NTSC になります。



16:9 サイズの映像を再生するときの画面サイズを設定します。テレビへの表示を
4:3 PS（パンスキャン）
4:3 LB（レターボックス）
16:9
にするかの選択です。



ピクチャーモードの選択です。
自動、FILM、VIDEO、SMART そして
S SMART（Super Smart）の選択です。



S ビデオ出力とコンポーネント出力は、いずれか片方しか使えません（同時使用不可）
ここで、どちらを使うか選択します。

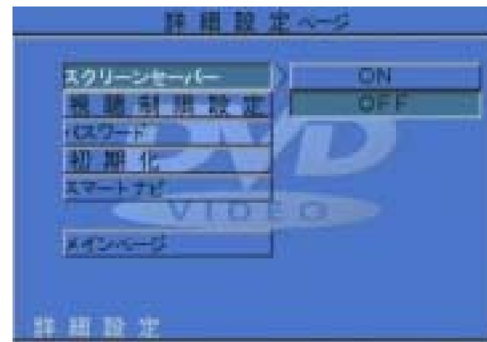


コンポーネントビデオ出力は、本来は、インターレスで表示するかプログレッシブで表示するかの選択ができますが、「040923」のファームウェアではこの機能は対応しておりません。

４）詳細設定

「詳細設定」にカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。
以下、それぞれの項目について説明します。

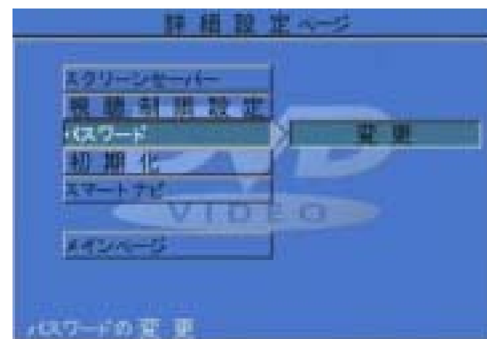
メニューや設定画面を表示中にリモコンの操作が数分ないとスクリーンセーバーの画面に切り替わる機能の選択です。



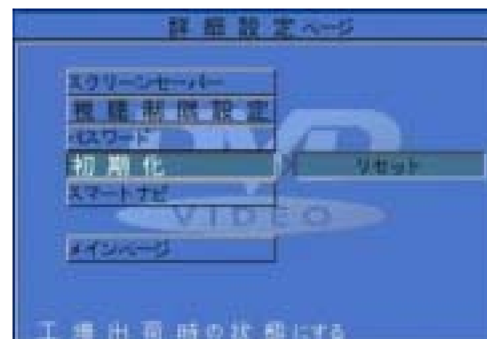
視聴制限設定の選択ができます。
視聴制限のある DVD ビデオを再生するときに有効です。
パスワードは、次の「パスワード」で設定できます。



ここで、パスワードの設定ができます。
パスワードの初期値は 3308 になっています。



この詳細設定の値を工場出荷時の状態に戻します。



ファイル再生のとき、表示される SMART NAVI の ON/OFF の選択です。



5-1　用語集

ここでは、このマニュアルに記載した用語について、説明します。

DVD ビデオ関連

■　地域コード

DVD ビデオには指定された国や地域以外では再生できなくするようなコードを DVD 規格に含めました。そのコードを地域コードと呼んでいます。（リージョンコードとも呼ばれています）

DVD ビデオのパッケージに、その DVD ビデオがどの地域で再生可能か記載されています。

■　タイトル/チャプター

DVD ビデオには、タイトルとチャプターに区切って映像が記録されています。

タイトルは、その区切りの一番大きな単位です。多くは、1 つの DVD ビデオが 1 つのタイトルになっています。

チャプターは、タイトルをいくつかに区切って、各チャプターごとに頭出しできるようになっています。

ファイルの種類関連

■　MP3

音声圧縮フォーマットの 1 つです。音楽をそのままパソコンに取り込むとファイルの容量（サイズ）が大きすぎ、保存に困ってしまいます。また、ネットワークを通して配信することもファイルの容量が大きいと、時間がかかってしまいます。

MP3 は、元の音質を損なわずに圧縮できる形式です。

■　DivX

映像圧縮フォーマットの 1 つです。MP3 と同じで、映像をそのままパソコンに取り込んだり、ネットワークを通して配信するには、ファイルの容量（サイズ）が大きく実用に耐えられません。

DivX は、小容量で高画質を実現した圧縮形式です。

■　MPEG1/MPEG2

MPEG1 は、ビデオ CD に用いられている映像の圧縮方式です。CD 一枚に 74 分の映像（352x240 の解像度）を保存できます。

MPEG2 は、DVD ビデオに用いられている映像の圧縮方式です。

■　ビットレート

Bit per second（BPS）で表す値です。一秒間のデータ量を示します。この値が大きいほど、画質は良くなりますが、ファイルの容量は大きくなります。

映像/オーディオ関連

■　コンポジットビデオ

もっとも一般的な映像信号の伝送方式で 1 本のケーブルで映像情報を伝送します。一般的には、黄色の RCA ピンケーブルで接続します。

■　S ビデオ

映像信号を明るさ情報（Y 輝度信号）と色情報（C 色差信号）に分けて伝送する方式です。コンポジットビデオよりも鮮明な映像情報を伝送でいます。一般的には S ケーブルで接続します。

■　コンポーネントビデオ
コンポジット信号に対し、映像信号を R,G,B 信号、あるいは輝度信号と色素信号に分解した信号です。赤、緑、青の 3 色に分かれたコンポーネントケーブルで通常接続します。
■　ドルビーデジタル
ドルビー社が開発したデジタル・サラウンド・フォーマット（音声圧縮技術）で DVD の標準音声使用になっています。
■　DTS
デジタル・シアター・システムズ社が開発したデジタル・サラウンド・フォーマット（音声圧縮技術）の名称です。ドルビーデジタルよりも低い圧縮率を採用しており、クリアで厚みのある音質の 5.1ch サウンドが再生できるといわれています。
■ DOWNMIX（ダウンミックス）
リアスピーカの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されている DVD を 2 チャンネルに変換して再生する方法です。下記の 2 つの方法があります。
RT/LT：サラウンド用にマルチチャンネル音声処理をした 2ch 出力。
ステレオ：ステレオ用にマルチチャンネル音声をミックスした 2ch で出力。
■　4:3 PS/4:3 LB/16:9
16:9 で作られた映像を再生するときに、接続するテレビに合わせて、再生時の画面サイズの選択です。
4:3 PS（パンスキャン）：4:3 画面のテレビとつなぐとき、ワイド画像の場合は、横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示。
4:3 LB（レターボックス）：4:3 画面のテレビとつなぐとき、ワイド画像の場合は、映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示。
16:9　：ワイドテレビにつなぐとき使用。
■　プログレッシブ
本製品では、コンポーネントビデオ出力でプログレッシブ対応のテレビに接続したときだけ有効になりますが、コンポジットビデオや S ビデオで接続した時の倍の走査線を持つ高密度な映像信号です。
コンポジットビデオや S ビデオの出力信号は、インターレス信号と呼びます。
■　プロロジック
ドルビーサラウンドエンコードされた音声を元の 4ch に復元させる技術です。元の音声がドルビーサラウンドエンコードされていないステレオ音声の場合、十分な効果は発揮できません。
■　SPDIF
Sony Phillips Digital InterFace の略です。デジタル音声を扱うインタフェース形式で、RCA コネクタを使った同軸タイプあるいは角型光コネクタが一般的です。
■　COAXIAL
SPDIF 出力の RCA コネクタの端子を COAXIAL 端子と本製品では呼んでいます。同軸デジタルケーブルで接続します。
■　LPCM
リニア・パルス・コード・モジュレーション（符号化変調）の略で、アナログ信号を圧縮をかけずにデジタル信号に変換する音声記録方式です。音楽 CD の記録方式として使われています。

■　SPDIF/RAW、SPDIF/PCM

SPDIF/RAW：ドルビーデジタルまたは DTS で記録された DVD を再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。リニア PCM で記録されたディスクを再生したときは、リニア PCM 信号を出力します。

SPDIF/PCM: ドルビーデジタルで記録された DVD を再生したときは、2ch PCM に変換して出力されます。DTS で記録された DVD を再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。

ハードディスク関連

■　LBA

Logical Block Addressing の略です。ハードディスク内のセクタを指定する方法として、以前はシリンダ／ヘッド／セクタという 3 つのパラメータで指定していたが、現在は LBA を使用して、ブロックアドレスという単一のパラメータで指定する方法です。

■　パーティション

通常ハードディスクなどのドライブは、１台で１つのドライブとして認識されています。しかし、ソフトで区切ることで１台のハードディスクを 2 台 3 台と分割することができます。これをパーティションを切るといいます。たとえば 100GB のハードディスク 1 台を 50GB（C ドライブ）と 50GB（D ドライブ）に分けて、前者をウィンドウズなどのシステムとアプリケーション用のドライブ、後者をユーザーのデータ保存用のドライブとして使用することができます。ウィンドウズでは通常「FDISK」というソフトを使って、パーティションの設定をします。

■　FAT32

Windows 95 用に FAT16 を拡張して 32 ビットで管理できるようにした規格です。FAT16 では最大 2GB のパーティションしか扱えませんでした。FAT32 では、4GB まで扱えるようになりました。

■　NTFS

Windows NT 用に開発されたファイルシステムで、ユーザーのアカウントに応じてファイルへのアクセスを制御できるなど、MS-DOS や Windows 9x で使われる FAT／FAT32 に比べ、セキュリティ機能や信頼性が強化されています。

5-2　映像ファイルの作成

本製品では、DivX ファイルを始め、さまざまな映像、音声ファイルの再生ができます。
ここでは、パソコンでどのように本製品で再生できるファイルを作る方法について紹介します。

本製品には、Ulead Video ToolBox2 for Mpeg HDGate というソフト（CD）が付いています。このソフトで、本製品で再生できるファイルを作成・編集することができます。

まずは、この CD をパソコンにセットし、インストールを行ってください。
詳しくは、CD の中に入っているマニュアル（VtoolBox.pdf）を参照（※）してください。インストールについては、マニュアルの 10 ページに記載されています。
※マイコンピュータで CD をセットしたドライブを開いて確認してください。

注意点：

■　本ソフトは、機能限定版です。マニュアルの 3 ページに、その違いが記載されています。マニュアルは、すべての機能について記載してありますので、マニュアルをお読みになる前にどの機能が違っているのかご確認ください。
■　作ったファイルを CD あるいは DVD のメディアに書き込むには、「DVD Movie Writer 3」か「Video Studio 8」がパソコンにインストールされている必要があります。ただし、ハードディスクにファイルを作成することはできます。
■　このソフトで作った WMA ファイルは本製品では、再生できません。

5-3　困ったとき　FAQ

電源が入らない。

原因：本製品の電源コードが、ご家庭のコンセントに接続されていない。
対策：電源コードをコンセントに接続してください。

映像が家庭用のテレビに表示されない。

原因１：本製品と家庭用のテレビの接続がされていない。
対策１：本製品の背面にコンポジット出力（黄色の RCA 端子)、S ビデオ端子（ミニ DIN4 ピン）とコンポーネントビデオ出力（緑、青、赤の RCA 端子）があります。そのいづれかと家庭用のテレビの接続が正常にされているか確認してください。

原因 2：家庭用のテレビの選択がきちんとされていない。
対策 2：家庭用のテレビの入力に「ビデオ１」とか「ビデオ２」とかの選択ができるボタンがあると思います。本製品と接続した入力をそのボタンで選択してください。

音声が出力されない。

原因 1：本製品とオーディオ出力機器（家庭用のテレビなど）の接続がされていない。
対策 1：本製品の背面にコンポジットオーディオ出力（赤、白の RCA 端子)、COAXIAL デジタル出力、光デジタル出力の端子があります。そのいづれかと正常に接続されているか確認してください。

原因 2：デジタルオーディオを使っている場合、デジタルオーディオの設定になっていない。
対策 2：詳細設定でデジタルオーディオを有効にするようにしてください。

リモコンが操作できない。

原因 1：電池が消耗している。
対策 1：電池を交換してください。

原因 2：電池の極性が逆
対策 2：電池の極性を確認してください。

原因 3：リモコンを向ける方向が間違っている。
対策 3：リモコンは、本製品に向けて操作してください。テレビに向けても動作しません。

原因 4：リモコンと本製品の間に障害物あるいは距離が遠い。
対策 4：障害物を取り除くか、本製品に近づいて操作してください。

映像が正常に表示されない。

原因 1：本製品をビデオ機器経由で接続している。
対策 1：本製品を直接家庭用のテレビに接続してください。

原因 2：6MBPS 以上のビットレートの MPEG2 ファイルを HD カセットから再生している。
対策 2：この場合、スムーズに再生できない場合があります。ビットレートを 6MBPS 以下にするか DVD プレーヤーから再生してください。

原因 3：本製品にあったファイルを再生していない。
対策 3：ファイル形式によっては、映像が正常でも、音声がでなかったり、音声と映像が同期していなかったりします。本製品の規格にあったファイルを再生してください。

DVD ビデオが再生できない。

原因 1：地域コードが違っている。
対策 1：本製品は、地域コードが「2」あるいは「ALL」の DVD ビデオしか再生できません。

原因 2：DVD-R/RW、DVD+R/RW に書き込んだ物を使っている。
対策 2：DVD-VR あるいは DVD+VR の形式で書き込んだ DVD は再生できません。DVD-Video で書き込んでください。

DVD ビデオ再生中に「AUDIO」などのボタンが動作しない。

原因 1：DVD ビデオでそれらの機能に対応していない。
対策 1：DVD ビデオによっては、複数の言語、字幕、アングルなどに対応していない物があります。そのような DVD ビデオの場合、「AUDIO」などのボタンが操作できません。(「ZOOM」「SEARCH」も同様です)

ファイルの再生ができない。

原因 1：本製品の規格外のファイルを再生している。
対策 2：ファイルの種類、画質その作り方で再生できない場合があります。本製品の規格にあったファイルか確認ください。

原因 2：ファイルが壊れている。
対策 2：ファイルが壊れているかどうかパソコンで確認してください。

原因 3：著作権保護されたファイルを再生している。
対策 3：著作権保護されたファイルは再生できません。

HD カセットが本製品で認識されない

原因 1：HD カセットに実装したハードディスクのフォーマットが違っている。

対策 1：HD カセットは、Windows の FAT32 あるいは NTFS 形式しか対応していません。再度、この形式でフォーマットしてください。

原因 2：本製品に対応したファイルが保存されていない。

対策 2：本製品の規格にあったファイルを保存してください。

原因 3：HD カセットに実装したハードディスクが正常に動作しない。

対策 3：パソコンに USB インタフェースで接続し、正常に動作するか確認してください。

原因 4：きちんと本製品に実装できていない。

対策 4：本製品の HD カセット挿入口に正常に挿入してください。

HD カセットがパソコンに認識されない

原因 1：USB ケーブルあるいは AC アダプタが正常に接続されていない。

対策 1：付属の USB ケーブルと AC アダプタを正常に接続しているか確認してください。

原因 2：パソコンの USB のドライバが正常にインストールされていない。

対策 2：パソコンの「デバイスマネージャ」を開いて、USB のドライバが正常にインストールされているか確認してください。

原因 3：Windows Me あるいは 98SE で使っている。

対策 3：HD カセットは、Windows 2000/XP 用です。Me あるいは 98 では、認識できません。

原因 4：HD カセットに実装したハードディスクの初期化が必要

対策 4：「マイコンピュータ」にアイコンが表示されない場合、「ディスク管理」を開いて認識されているかどうか確認してください。「ディスク管理」で認識されていれば、ハードディスクの初期化をすることで認識され、「マイコンピュータ」にアイコンが表示されます。

原因 5：HD カセットに実装したハードデイスクが壊れている。

対策 5：ハードディスクを交換してください。

5-4　デジタルスタジオからのご案内

下記の Web をご覧ください。

http://www.novac.co.jp/seisaku/



「Mpeg HDGate」　取り扱い説明書

発行日：　　第二版　２００４年１０月

発行元：　　株式会社ジェットオンライン

〒113-0033　東京都文京区本郷 3-38-1
本郷イシワタビル

MPEGHD-041001